



地域を育み、  
大陸をつなぐ  
国際ロータリー会長  
レイ・クリンギンスミス

Rotary International

# 週報



国際ロータリー第2750地区多摩中グループ  
東京国分寺ロータリークラブ

— 親睦と奉仕活動の原点を大切にするロータリアン —

2010~2011年度 会長 大平 恵吾

Vol45 No.39 平成 23年 5月 17日

## 第2182回 創立45周年記念式典報告

— 5月17日 —



### 第一部 記念式典

#### 本日の司会

桑原 幹事



#### 開会の点鐘

大平 会長

#### 国歌斉唱

『君が代』

#### ロータリーソング

『奉仕の理想』

○ソングリーダー:

倉島 会員



#### 物故会員への黙祷

#### ご来賓の紹介

大平 会長

- 星野信夫様(国分寺市長) ○松井敏夫様(国分寺市教育長)
- 安島正久様(JR東京西駅ビル開発(株)業務部担当部長)
- 山内史生様(㈲東京武蔵野美術学院代表取締役)
- 信山勝由様(多摩中Gガバナー補佐・東京小金井さくらRC)
- 佐藤剛様(多摩中Gグループ幹事・東京小金井さくらRC)

○乙幡勝豊様(東京小金井RC会長)

○井上孝一様(東京小金井RC幹事)

○鈴木義明様(東京武蔵国分寺RC会長)

○櫻井健生様(東京武蔵国分寺RC会長)

#### 会長の時間

大平 会長

東京国分寺RCは昭和41年に創立され、今年、創立45周年を迎えました。昭和41年は、その2年前の昭和39年に東京オリンピックが開催され、また東海道新幹線が開業し、戦後の混乱が治まってきた時代でもあります。このようなときに当クラブは東京小金井RCのご支援のもとに創立され、以来、多くの先輩会員のご尽力によって発展を続けて参りました。基本的には、会員相互が信頼と友情によって結ばれ、各々の職業を誠実に遂行し、多くの奉仕活動を行ってきました。もともとは他人であった者達が一つの組織をつくり、個人的利得がないにもかかわらず、連綿とそれを継続し発展させているということは驚くべきことといえましょう。それは、会員一人一人がロータリーの綱領を深く理解していることによるものと思いません。私たち現在の会員は、先輩が築いてきた伝統を更に発展させ、そしてそれを後輩に引き継ぐ責務があります。創立45周年を期に、このことを強く認識してクラブの運営に当たる所存であります。関係各位のご指導、ご鞭撻をお願いするものであります。



## 記念事業の発表並びに贈呈式

発表: 創立45周年記念式典実行委員会 亀田委員長

贈呈: 大平会長

○2750地区ロータリー財団寄付目録

○2750地区米山記念奨学会への寄付目録

信山勝由ガバナー補佐へ贈呈



○国分寺市教育委員会へ400枚のパトロールベスト、

救命講習テキスト700冊、及び駅伝大会のユニホームの目録

松井敏夫教育長へ贈呈



## 御礼の挨拶

○多摩中グループガバナー補佐 信山勝由様

本日は東京国分寺RCの創立45周年記念式典

にお招き頂き有難うございます。当初はパレス

ホテル立川に於いて多数の来賓をお招きしての

式典を予定されていたようですが、3月11日の

東日本大震災を受け式典の規模を縮小しての開催となつたとお聞き

しております。式典に向け準備を整えられた上の変更で、震災とは

言え皆様のご苦勞と大平会長と皆様のご英断には頭の下がる思

いです。さて、国分寺RCは昭和41年5月17日、45年前の今日創

立されています。多摩中グループでは創立順でいきますと3番目の

クラブになります。創立以来、社会奉仕事業を積極的に行い、同時

に福祉募金や中学生のための救急救命講習や最近では昭和61年

から継続している身体障害者の皆様のためのニコニコボーリング大

会を行うなどクラブの中核となる事業をしっかりと確立されていると

お聞きしております。RCの各役員は単年度の任期であり、会員の

入会や退会がある中で永年にわたり、クラブ事業を継続され、地区

は勿論、地域の中で国分寺RCの価値をしっかりと確立されている

クラブ運営の姿は大変立派なものであると感じております。今後も

これまでの活動に自信と誇りを持ち、なお一層の発展、充実をされる

ようお願い申し上げます。ところで、3月11日の東日本大震災に

於いては、多数の被災者を出し、現在でも多数の方が行方不明とな

っている現状です。被災者の皆様には心からお見舞いを申し上げる

とともに亡くなられた皆様のご冥福を心から申し上げます。2750地

区に於いても被災地の復興に少しでも支援できればと義捐金のお

願いをしているところであります。3月末までは第一次の義捐金をお

願い、2750地区では総額5,680万円あまりの義捐金が集りまし

た。この中、5,000万円を全国ガバナー会を通じまして被災地の

地区に送っております。また、4月20日の第二次の募金お願いした

ところ、地区に2,800万円の義捐金が集り、この中2,000万円を

ガバナー会に送金しました。ガバナー会では全国から集りました義



捐金の使途について東日本大震災の支援検討委員会を設けまして、ロータリーとしてふさわしい支援活動を行うことを検討しているところで、現在、検討されているのは、災害遺児のための教育支援プログラムや被災地で活動が問題になっているクラブを支援するためのプログラムでございます。国分寺RCの皆様につきましても式典の変更により経費を削減され、その分を義捐金として頂けるようなこともお聞きしております。皆様のクラブをあげてのご協力に心からお礼申し上げます。この震災については今後も街や産業の復興に大変長い時間と努力が必要だと思っております。クラブの会員の皆様もクラブのメンバーとしましては、勿論、各個人としても地域やそれぞれの職業を通じて様々な支援活動をされていると思います。このような困難な時期にこそロータリーはロータリーの精神にある超私の奉仕の心でそれぞれの奉仕活動に当たって頂きたいと考えております。国分寺RCの皆様はクラブ創設当初から様々な社会奉仕活動に取り組んでいらした実績がありますので、このような時こそ、その経験を存分に発揮して頂き、今後のクラブの発展に役立てて頂きたいと思っております。最後になりますが、本日の式典の準備をして頂いた実行委員長亀田様をはじめとする実行委員の皆様、大平会長、桑原幹事さんをはじめとする国分寺RCのメンバーの皆様にお招き頂いたことを心から感謝申し上げます。これからのクラブの一層のご発展を祈念いたしましてお祝いの御挨拶とさせていただきます。

○国分寺市教育委員長 松井敏夫様

本日は国分寺RCの創立45周年おめでとうございます

。今日は、いろんなものを大平会長から頂戴する

役目で参った訳ですが、先程ご紹介ありましたよ

うな大変な浄財を私たちのためにご寄贈頂き

有難うございます。特にこのベスト、このユニホームこれは東京都の

区市町村対抗の中学2年生の駅伝大会が昨年からお開かれています

が、実は国分寺市の中学校にはユニホームがないと云うことをお伝

えしましたところ、国分寺RCの皆様から頂戴できると言うこと

になりまして、ロータリーのマークを入れたものを頂きました。こう云う

社会情勢の中、残念ながら本年度の大会は延期となりました。いろい

ろありましたけれども国分寺の子供達のために日頃から大変なお力

添えさせて頂いていることを感謝申し上げます御挨拶とさせていただきます。



## 会員表彰

大平会長

○在籍45年表彰

小川 重行会員

富永 義博会員



○皆勤100%・在籍30年以上表彰

近藤 裕会員 谷田成雄会員

## 御礼の挨拶

小川会員

只今、立派な表彰状を頂きました。有難うございました。考えてみ

ると永年在籍したと云うことだけで他に取り得のない訳です。その

点、出来るだけ45年間の実績と云うものを踏まえさらに会のため



に尽くして行くよう努力して行きたいと思いません。今後とも宜しく御指導のほどお願い申し上げます。ひとことお礼の挨拶とさせていただきます。本日は本当に有難うございました。



### 感謝状並びに記念品贈呈

贈呈:大平会長

JR東京西駅ビル開発株式会社  
業務部担当部長 安島正久様

(有)東京武蔵野美術学院  
代表取締役 山内史生様



### 来賓祝辞

○国分寺市長 星野信夫様

創立45周年おめでとうございます。国分寺RCの皆様には公私ともに大変お世話になっております。心から感謝申し上げます。ロータリークラブ



は個々の会員としては、まず、それぞれの職業を通して地域社会に奉仕をすると云うこと、また具体的には市内の主要な公共的、社会的な団体のメンバーとして、また市の関連する様々な委員会、協議会等の委員としてご活躍頂いております。また、この度は国分寺の子供達のために様々なプレゼントを頂きました。教育長ともども感謝致している次第です。また、振り返ってみますと、本当にいろいろな活動に取り組まれて来ました。たしか、創立記念の時には、くろがね公園に桜を植えられたと云うことです。今年は大災害もあって、ちょっと寂しい春ではありましたが、桜の花は変わらず美しく咲いて多くの人を和ませてくれています。また、福祉活動で私にとって印象深いのは、リオンの三沢社長がご提案されたと思いますが赤ちゃんの耳の聞こえの問題の相談を永く取り組まれていました。これは、国際的にも輪を広げられたと思っておりますがそう云う福祉活動、それから、残念ながらもなくなってしまいました。パークレーンを使つてのニコニコボーリング大会だったと思います。障害者の皆さんは本当に喜んでいました。また、他に、例えば5周年の時には、国分寺青年会議所の設立に当たつての地域スポンサー団体として大きなお力を頂きました。その後はクラブの拡大と云うことで、武蔵国分寺RCを設立されたという功績を残されています。青年会議所と武蔵国分寺RCは、実は私もメンバーでありました。身近にいたロータリアンに説得されまして、そのチャーターメンバーになった訳です。青年会議所は、13年間、相当夢中になってやりました。武蔵国分寺RCの方は、私はロータリー向きではないと思つていたのですけれどもこれにもめり込んで一生懸命やりまして2代目の幹事などやらせて頂きました。その幹事の時は、国分寺RCの会長は村井さんだと思つていますが村井さんも故人となられて、先程、黙祷を捧げさせて頂きました。本当に東京国分寺RC

にはキラ星の如く素晴らしい方々がいらっしゃいました。私自身、振り返り見れば歴代の会長さんはじめ素晴らしい方々からご訓導頂きそれが青年会議所、武蔵国分寺RCの活動の中に反映出来たと思うし、また私の中に蓄積されたものも沢山あって、私自身が今日、この仕事を務めさせて頂いているのも皆様方の様々なご訓導、御指導、ご支援の賜物ではないかと心から個人的にも深く感謝申し上げているところであります。大震災がありました。国分寺市としましては、職員の派遣という形で5月7日までは3班・10名ずつ仙台市若林区に瓦礫とゴミの片付けに職員9名ずつ合計27名派遣しております。5月9日からまた、多賀城市、多賀城と言うのは国分寺と同じように奈良時代に陸奥の国の国府があったところでありましたが、そう云った縁がありましてお付き合いをしている訳ですが、そこに今でも市役所の仕事の手伝いと言うことで10名の職員を派遣しております。その激励と現地の視察ということ兼ねて先週の土・日に行つて来た訳ですが、やはり、それまで2ヶ月間に亘つての報道を目にして来た訳ですが、心の痛み・苦しみを感ずる出来事ばかり、今でも原発の問題が続いていますが、本当に膨大な土地が津波によって全てなくなっている。多賀城と言うところは仙台港に面している訳で輸出用の6,000台の車が押し流されていて、それが家屋を破壊したり、田んぼの中に列車が倒れていたり、本当に痛ましい現地を見て来ました。これから息長く被災者、被災地の支援に当たつて行かなければならないと云う思いを強くして帰つて来ました。我が市に何か、仮に起こつたとしたら、この現状を生かさなければいけないと云うことを感じましたし、これを機会に日本全体で今まで問題と言われていたことをしっかりと立て直して行く機会にして行かなければ、犠牲となつた方々に申し訳が立たないという思いを強くして帰つて来ました。是非ロータリークラブさんが大事にしている人と人のつながり、これを大事にしながら、国全体を立て直して行くのだという気持ちで皆様と一緒に頑張つて行きたいと思つております。45周年本当におめでとうございます。これを機にますます発展されることを祈念申し上げます。お祝いの言葉にさせていただきます。

### 祝電の披露

### 閉会の点鐘

大平会長

### 第二部 祝宴

○司会:高橋正昭親睦委員長

### お祝い並びにニコニコボックス

高橋正昭親睦委員長

大平会長・桑原幹事:当クラブ創立45周年を祝してニコニコいたします。小向会員:創立45周年を祝してニコニコします。山内会員:45周年記念を祝してニコニコ致します。本日は愚息と共に参加しました。国分寺RCのますますの御繁栄をお祈り致します。木口会員:当クラブの創立45周年記念式典を祝してニコニコしま

す。濱仲会員：東京国分寺RC創立45周年を祝して。津野田会員：東京国分寺RC45周年を祝し、益々の発展を祈年します。佐藤会員：45周年記念例会に信山ガバナー補佐の来会を歓迎して。富永会員：入会以来、無事45年を迎えました。これからも、皆様の邪魔にならないよう頑張ります。小川会員：東京国分寺RC創立45周年を祝ってニコニコします。

## 開会の辞

## 濱仲会長エレクト

本日はご来賓の皆様、会員の皆様、東京国分寺RCの創立45周年記念式典に最後までお付き合い下さいまして有難うございます。当初、予定していたのは、立川のパレスホテルで豪華に、華



やかにやるはずでしたが、大震災があったということで、この祝宴に関しましても、式典はやるけれども祝宴・懇親会は中止しようと言う話がありましたが、皆が自粛し過ぎますと、日本がますますだめになって行くのではないかと言うこともありました。かつて、阪神淡路大震災があった時には近くの大阪、京都が元気があったから神戸の復興が早まりました。今回、東北地方全般にかなりの被害が出ております。復興にはかなりの時間がかかると思います。あと何年かかるかわからない状況であります。しかし私達東京など大都市がしっかり頑張っていって行き、消費など進めていけば、現在は金と物資は東北に送っていますが、東北が復興すれば、今度は物資が首都圏に回って来ることになります。今日は、ささやかですが簡素に祝宴を行いたいです。私は、あと一月半もすると会長ということになります。その時は宜しくお願いします。只今から国分寺RC創立45周年記念の祝宴を始めさせていただきます。

## 来賓祝辞

### ○東京武蔵国分寺RC会長 鈴木義明様

大平会長並びに会の皆様おめでとうございます。子クラブを代表しまして心からお祝い申し上げます。1969年5月17日に誕生したということですが、当時は3C時代というカラーテレビ、車、クーラーの時代に入り、私は18歳で大学1年の頃でしたが学園紛争のスタートの時期でもあり、2年後には浅間山荘事件があり、一方ではイギリスからはビートルズが来日したり、朝の連続ドラマでは「おはなはん」が始まったという時代でした。それから26年後、皆さんのお力のもと、小川特別代表のもと、武蔵国分寺RCを誕生させて頂きました。私ども武蔵国分寺RCは、今年は創立19年、来年は20年を迎え、大人の年に入ることになります。今年1年間、いろんな場面で貴クラブにお呼び頂きました。その時常に思い出させて頂くのは、伝統と諸先輩の素晴らしい例会の凛としたものを拝見させて頂きました。私ども大人と言いますがでも沢山学ぶところが多くございました。これを手本にしなればということ私どもの次年度の会長尾崎幸信にしっかりと伝えておる次第です。素晴らしい親クラブでありますよ



うに、何かありましたら、馳せ参じます。先程出ました東北大震災の件ですが、私どものクラブから復興支援委員会の委員として地区の方に外向させて頂いております。先程ガバナー補佐が話されましたように被災者たちにどのような支援が良いか検討されています。このような中、創立45周年を迎えられた国分寺RCにありましては、素晴らしい50年、60年に向かって行かれることと思います。私ども見習いながら成長させて頂ければと思っております。簡単ですが祝辞としてお話をさせて頂きました。

## 国分寺ジュニア・ミュージック・シアターによる合唱

### 指揮者 庄司由美子様



## 乾杯

### ○東京小金井RC会長

### 乙幡勝豊様



## 食事・歓談



## ロータリーソング

### 『手に手つないで』

### ○ソングリーダー 倉島会員



## 閉会の言葉

### 亀田実行委員長



国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ

## 東京国分寺ロータリークラブ

会長 大平 恵吾 幹事 桑原 哲也  
会報委員長 小向 将介 副委員長 中島 米治郎

事務所・例会場 東京都国分寺市南町 3-20-3 国分寺ターミナルビル 8階  
Tel.042-322-6480

編集・印刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町 3-8-12 Tel.042-320-5601  
URL: <http://kokubunjirc.exceed-net.co.jp>